



2026年 1 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年 9 月11日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <https://www.morozoff.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山口 信二
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 経営統括本部長 （氏名）磯野 健治 TEL 078-822-5000
 半期報告書提出予定日 2025年 9 月12日 配当支払開始予定日 2025年10月 7 日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 1 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績（2025年 2 月 1 日～2025年 7 月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 1 月期中間期	16,192	△1.7	424	△41.7	468	△37.4	271	△44.2
2025年 1 月期中間期	16,470	4.6	727	△12.8	748	△12.6	486	△9.8

（注）包括利益 2026年 1 月期中間期 287百万円（△59.1％） 2025年 1 月期中間期 703百万円（6.2％）

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年 1 月期中間期	13.43	—
2025年 1 月期中間期	23.43	—

（注）2025年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行ったため、2025年 1 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり中間純利益を算出しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 1 月期中間期	26,068	19,467	74.7
2025年 1 月期	25,591	19,483	76.1

（参考）自己資本 2026年 1 月期中間期 19,467百万円 2025年 1 月期 19,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 1 月期	—	35.00	—	47.00	82.00
2026年 1 月期	—				
2026年 1 月期（予想）		6.00	—	8.00	14.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。2025年 1 月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2026年 1 月期（予想）については、当該株式分割後の配当額を記載しております。

3. 2026年 1 月期の連結業績予想（2025年 2 月 1 日～2026年 1 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,920	△0.3	1,030	△50.0	1,060	△49.5	580	△59.0
								28.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年1月期中間期	21,265,356株	2025年1月期	21,265,356株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年1月期中間期	1,047,484株	2025年1月期	1,054,635株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年1月期中間期	20,213,697株	2025年1月期中間期	20,755,221株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、2025年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料の入手方法について

決算補足説明資料は同日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(収益認識関係)	8
3. 補足情報	9
販売実績	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年2月1日～2025年7月31日）における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、物価上昇と実質賃金のマイナス傾向が続いていることから節約志向がますます高まっており、消費者の商品や価格への選別の目は厳しさが増しております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガンである『こころつなが。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供することに注力しました。

売上面につきましては、クッキーなどの焼菓子は好調に推移したものの、バレンタイン商戦が前倒し傾向となったことや、消費者の節約志向の影響による洋生菓子の買い控え、香港の子会社の春節での売上が当中間連結会計期間に計上されないこともあり、当中間連結会計期間の売上高は16,192百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

損益面につきましては、店舗や工場の人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定に取り組んだものの、減収に加え、カカオを中心とした原材料価格の高騰、賃金の引上げによる人件費の増加、輸送費用の上昇や昨年、船橋の物流機能を外部委託に完全移行したことに伴う諸費用の計上などにより、営業利益は424百万円（前年同期比41.7%減）、経常利益は468百万円（前年同期比37.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は271百万円（前年同期比44.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、素材と製法にこだわった新体験カスタードスイーツ専門店「CUSTA」の3号店が2025年4月に日本橋三越本店へオープンしたことによる売上貢献に加え、「ファヤージュ」や「ガレット オ ブール」などの焼菓子が好調に推移したことや万博向け商品の発売による売上増加があったものの、前倒し傾向となったバレンタイン商戦の影響や香港の子会社での春節の売上が前期の計上となったこともあり、前年同期を下回る売上高となりました。

洋生菓子につきましても、昨年に発売55周年の記念商品を販売したチーズケーキの反動減に加え、物価上昇に伴う節約志向による影響などにより、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は15,191百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、メニューの価格や内容の改変等により売上拡大を図った結果、売上高は1,001百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ476百万円増加し、26,068百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額2,081百万円、有形固定資産の増加額1,850百万円、仕掛品の増加額1,251百万円、受取手形及び売掛金の減少額3,447百万円、商品及び製品の減少額1,334百万円等であります。負債は前連結会計年度末に比べ492百万円増加し、6,600百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加額339百万円等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、19,467百万円となりました。これは主に退職給付に係る調整累計額の増加額31百万円、利益剰余金の減少額45百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,581百万円増加し、当中間連結会計期間末には5,176百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少、税金等調整前中間純利益の計上、退職給付に係る資産の増加、法人税等の支払額等により、3,471百万円の収入（前年同中間期は1,569百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入、有価証券の売却及び償還による収入、有形及び無形固定資産の取得による支出、定期預金の預入による支出等により、1,549百万円の支出（前年同中間期は1,674百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、323百万円の支出（前年同中間期は684百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月30日に発表いたしました2026年1月期の連結業績予想について変更はありません。なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,594,650	6,676,638
受取手形及び売掛金	6,892,429	3,445,078
有価証券	499,250	—
商品及び製品	2,372,148	1,037,272
仕掛品	336,922	1,588,727
原材料及び貯蔵品	486,545	704,824
その他	112,629	196,853
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	15,293,576	13,648,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,988,869	1,925,251
土地	3,644,738	3,644,738
その他(純額)	1,470,777	3,384,570
有形固定資産合計	7,104,385	8,954,560
無形固定資産		
その他	219,522	210,417
無形固定資産合計	219,522	210,417
投資その他の資産		
投資有価証券	1,274,819	1,300,059
退職給付に係る資産	764,711	1,004,182
その他	936,499	950,394
貸倒引当金	△2,500	—
投資その他の資産合計	2,973,529	3,254,637
固定資産合計	10,297,437	12,419,616
資産合計	25,591,013	26,068,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	955,273	1,294,310
電子記録債務	529,098	420,707
短期借入金	1,510,000	1,510,000
未払法人税等	214,794	195,840
賞与引当金	218,570	216,910
その他	1,984,531	2,171,994
流動負債合計	5,412,268	5,809,762
固定負債		
退職給付に係る負債	80,093	81,303
その他	615,403	709,610
固定負債合計	695,497	790,913
負債合計	6,107,765	6,600,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,924,810	3,928,590
利益剰余金	12,641,274	12,596,121
自己株式	△1,364,417	△1,355,245
株主資本合計	18,939,136	18,906,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	461,392	472,005
土地再評価差額金	290,138	284,238
為替換算調整勘定	107,985	87,671
退職給付に係る調整累計額	△315,404	△283,514
その他の包括利益累計額合計	544,112	560,400
純資産合計	19,483,248	19,467,335
負債純資産合計	25,591,013	26,068,011

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
売上高	16,470,565	16,192,722
売上原価	7,915,647	8,041,120
売上総利益	8,554,917	8,151,602
販売費及び一般管理費	7,827,344	7,727,471
営業利益	727,572	424,131
営業外収益		
受取配当金	16,800	18,014
債務勘定整理益	—	15,378
その他	18,484	30,692
営業外収益合計	35,285	64,086
営業外費用		
支払利息	11,461	12,069
その他	2,746	7,313
営業外費用合計	14,208	19,382
経常利益	748,649	468,834
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21,905
特別利益合計	—	21,905
特別損失		
固定資産除売却損	2,131	5,989
解体撤去費用	—	3,980
特別損失合計	2,131	9,969
税金等調整前中間純利益	746,518	480,771
法人税等	260,286	209,289
中間純利益	486,231	271,481
親会社株主に帰属する中間純利益	486,231	271,481

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
中間純利益	486,231	271,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171,053	10,612
土地再評価差額金	—	△5,900
為替換算調整勘定	14,561	△20,314
退職給付に係る調整額	32,130	31,890
その他の包括利益合計	217,745	16,288
中間包括利益	703,976	287,769
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	703,976	287,769
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	746,518	480,771
減価償却費	372,872	309,906
解体撤去費用	—	3,980
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,230	△1,660
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,591	1,166
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△371,119	△198,793
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,500	△2,500
支払利息	11,461	12,069
受取利息及び受取配当金	△19,001	△20,632
債務勘定整理益	—	△15,378
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△21,905
固定資産除売却損益 (△は益)	2,131	5,989
売上債権の増減額 (△は増加)	3,348,067	3,438,485
棚卸資産の増減額 (△は増加)	176,242	△6,588
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,745,468	236,228
その他	△480,044	△618,437
小計	2,047,799	3,602,699
利息及び配当金の受取額	18,430	20,307
利息の支払額	△13,330	△13,975
法人税等の支払額	△483,595	△138,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,569,303	3,471,012
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,490,000	△1,500,000
定期預金の払戻による収入	490,000	1,000,000
有価証券の取得による支出	△798,999	—
有価証券の売却及び償還による収入	499,981	499,692
有形及び無形固定資産の取得による支出	△347,518	△1,566,409
投資有価証券の取得による支出	△1,447	△2,052
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	24,317
その他	△26,713	△5,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,674,696	△1,549,843
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,990	△7,990
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,858	△396
配当金の支払額	△673,691	△315,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△684,540	△323,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,203	△15,373
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△778,730	1,581,987
現金及び現金同等物の期首残高	6,640,761	3,594,650
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,862,030	5,176,638

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

報告セグメント	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
洋菓子製造販売事業計	15,499,844	15,191,276
(内訳)		
干菓子群	11,059,014	10,889,214
洋生菓子群	4,033,728	3,897,500
その他菓子群	407,101	404,561
喫茶・レストラン事業計	970,720	1,001,445
顧客との契約から生じる収益	16,470,565	16,192,722
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	16,470,565	16,192,722

3. 補足情報

販売実績

当中間連結会計期間のセグメント別商品群別販売実績は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係)」に記載のとおりであります。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分(商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。
	(クッキー) ファヤージュ、アルカディア、オデット、ガレット オ ブール等。
	(デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。
	(詰合せ) ハッピーパーティ、ロイヤルタイム等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー等。
	(ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ等。
	(半生菓子) マドレーヌ、フィナンシェ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。